



産直こめたまご飼料米 田植え交流会開催!...14P



生協しまね
Instagramは
こちらから

コンテンツ

表紙：子どもも大人も一生懸命田植えを行いました。

2P ◆ 生協しまね第40回通常総代会報告

7P ◆ 40周年記念企画
あなたのイラストが『こーぶ・しまね』の表紙に！

8P ◆ おたがいの支えあいの気持ちが
子どもたちの笑顔と元気につながる
～フードバンクしまね あったか元気便～

10P ◆ 【連載】あの時、生協があった

11P ◆ 総代募集 ～あなたの思い・願いが生協に届く～
◆ わたしのお気に入り『ピタッ！とラップ』

12P ◆ みんなあつまれ

14P ◆ 災害支援基金の募金にご協力をお願いします
◆ 産直こめたまご飼料米田植え交流会開催！

16P ◆ みんなのくらぶ
「津和野おしゃべりくらぶ」（鹿足郡）



出雲市 ぱちぱちさん





共に生き 1金全農の心
共に創る豊かな暮らし

生協しまね 第40回 通常総代会報告

6月18日(火)、松江市のくにびきメッセにて、第40回通常総代会を開催しました。

通常総代会は、私の暮らしと生協のこの1年を振り返り、これからの1年、私の暮らしに生協をどう活かすか、どんな応援があったらいいのかを考えていく場です。さらに、私の暮らしをもっと豊かにするために、生協がどうあったらよいかを考える場でもあります。

- 第1号議案 2023年度の振り返りと2024年度の方針について
- 第2号議案 2023年度決算及び剰余金処分案について
- 第3号議案 2024年度予算について
- 第4号議案 役員報酬の限度額（総額）について



理事会あいさつ〈抜粋〉

新年早々発生した能登半島地震は、石川県能登半島を中心に甚大な被害をもたらしました。今もなお、不便な生活を強いられていたり、やむを得ず住み慣れた地域を離れるという決断に至った方々もいらっしゃいます。組合員のみなさんに支援募金を呼びかけたところ、心温まるメッセージと共に1,100万円を超える金額が寄せられました。ご協力、誠にありがとうございました。平穏な暮らしが1日も早く戻ることを心よりお祈り申し上げます。

生協しまねは11月に創立40周年を迎えます。この40年間で地域も暮らしもすっかり変わっています。人口減少・少子高齢社会など様々な課題もあり、公的制度や地縁・血縁だけで自分たちの日々の暮らしを支えることは難しい社会となっています。このような中、生協しまねのビジョン「共に生き 共に創る豊かな暮らし」を活動の指針とし、島根にある生協の役割を探り続けています。その一つに「地域つながりセンター」の設立に関わり、地域の諸団体との連携による「誰もが安心して住み続けられる地域づくり」を目指した活動をすすめています。また、2月には益田市と「地域活性化包括連携協定」を締結しました。これからもビジョンの実現に向けて、何十年先の未来社会づくりにつながる活動を組合員や職員、生産者・メーカー、そして地域や他団体のみなさん、行政と積み重ね、共に創っていきたいと思います。



副理事長
石原 淳子

父となかよし個配

益田支所 河野 美登里さん

現在、独居になった96歳の父となかよし個配を利用しています。90歳で免許を返納してから不自由さを愚痴っていましたが、やっと慣れたようです。父の分を注文するのは、同居ではない弟です。配送日には私が実家へ行き、商品を仕分けします。冷蔵の惣菜はその日の夕食に。アイスクリームを一緒に食べ、「こねえなもんもあるんかあ」と父が驚いたり、生協商品が会話のきっかけにもなっています。一人暮らしの父がいつまで実家で過ごせるか分かりませんが、父が実家にいる間はなかよし個配を利用したいと思います。



離れた地で暮らす母へ

松江南支所 加藤 裕子さん

2年前、松江市内から玉湯町に移り、買い物が不便となり、生協を再開しました。その後、大田市の施設に暮らす母にも、生協商品が届くようにしていただいたおかげと、その施設のスタッフさんの協力と連携で、毎週少しずつその時期の果物や母でも食べられそうなおやつを届けることができるようになりました。これからも自分のライフスタイルにあった生協の利用をさせていきたいと思っています。



隠岐の島の課題

隠岐の島出張所 藤田 寿恵子さん

昨年度からエリア委員として活動しています。組合員さんや生協の職員との関わりが増え、生産者さんの工夫や苦勞、製造工程などを知ることによって、より商品を身近に感じ、商品の良さを理解できるようになりました。一方で、隠岐はフェリーが欠航すると商品が届かず、配送手数料も本土より高く300円～357円かかります。近くの商店は年々減っており、移動販売車も今年度から廃止となり、買い物が困難な地域が多くなっています。益田市の匹見下地区での取り組みは大変参考になりました。隠岐の島でも生協と行政・地域が連携し問題を解決していけたらと思います。



組合員からの メッセージ

5名の方にメッセージを
発表いただきました



生協の存在に感謝

松江南支所 鈴木 咲子さん

生協との出会いは今から50年前、横浜の生協店舗でした。安心・安全を追求し、生産者の顔が見え、信頼関係もあり、日常生活に必要なもののほとんどを求めていました。37年前、島根に来てすぐに組合員になりました。そして、12～13年前、石見地方で単身赴任中の夫を訪ねたときのこと。「今日は私がごちそうする」と、生協商品をきれいな器に入れて自慢気に出してくれ、「これ、ぜんぶ生協！まさにお・ふくろ（袋）の味」と。夫も生協に加入していました。改めて生協の存在に感謝し、安心して帰りました。これからは安心・安全に加え、商品への感謝や再生（自然環境）なども考えるみんなの生協であることを願っています。



生協と共に子の成長を見守る

松江南支所 三澤 芙美子さん

3人の子育てをしています。生協の配送日には、子どもたちが冷凍庫や戸棚を嬉しそうにチェックします。習い事への送迎の車内などで、ちょこっと食べたいお菓子パン、ズボラ主婦のお助け的な冷凍食品、日用品など、何でも生協でストックする買い方をしています。先輩ママからは「子育てを楽しみなさいね」とエールをいただきますが、楽しむ余裕もなく、日々燃え尽きたり、くすぶったり、ボヤが起きたり、雷が落ちたり。今後も子どもの成長を生協商品と共に見守りたいです。



第1号議案 2023年度の振り返りと2024年度の方針について

食の応援

地元メーカーへの見学や学習会を積極的に行いました。メーカー、生産者から直接お話を聞いたり、作業工程などを見ることで理解が深まり、地元の商品をあらためて見直す機会となりました。



つながり応援

●子育て層へ向けて

子育て中の組合員の応援を行いました。東部では『ままかふえ』、中部では『すすく広場』、西部では『プレ子育てくらぶ』と題して、商品を囲んでのおしゃべり会など、それぞれに子育て世代の集まりの場を作りました。



2023年度、計4回の開催があり、新聞紙で遊んだり、クリスマス会を行った、離乳食の試食をしました。



出雲医療生協さんを招いて、ピロピロ笛を使った口腔ケアの学習を行いました。



2023年度、計5回の開催があり、離乳食や生協商品を囲んでのおしゃべりを行いました。

●くらぶ・サークル

人と人とのつながりを応援する『おしゃべりくらぶ』『子育てくらぶ』『サークル』では、集まりの場を通してお互いの近況を報告したり、元気を分け合ったりという場がたくさん生まれました。



共に生き 共に創る



少子高齢化や買い物難民問題など、地域が抱える問題は年々深刻化しています。生協しまねは、地域の諸団体と連携して安心してらせる地域づくりを目指しています。



2024年2月には、益田市と地域活性化包括連携協定を締結しました。子育て支援や地域の見守り活動などを行政と共に進めていきます。



高齢化率70%の益田市匹見下地区では、自治組織・公民館・生協しまねが協力し、住民の買い物問題解決に向けた取り組みを開始しました。



地域つながりセンターをはじめ、地域の諸団体と一緒にフードバンクや子ども食堂の取り組みを進めています。

みらいへつながる



今年の1月1日に発生した能登半島地震は、能登半島を中心に甚大な被害をもたらしました。日本生協連の呼びかけで、生協しまねからも2名の職員が支援に行きました。組合員のみなさんへ支援募金の協力を呼びかけたところ、1,111万3,484円の募金が寄せられました。ご協力ありがとうございました。



支援に行った職員



松江南支所
加茂 琢也

出雲支所
嘉藤 直樹

産地からの メッセージ

サン・くらふとの会

産直提携先の1つである、りんごの生産をしている「サン・くらふとの会」。2019年には台風の影響で大きな被害を受けました。当時のようすと、現在の栽培状況についてお話を伺いました。

サン・くらふとの会
小川 奈津美さん



2019年の台風被害

10月、台風19号の影響で千曲川が決壊し、当時弊組合メンバー8軒の内5軒が被災しました。合計耕作面積、約11haの内6ha弱の畑が水没しました。台風前に収穫していたりんご1,400kg分は冷蔵庫の中で泥まみれになり捨てることになりました。この後の自分たちの生活や仕事がどうなるのか漠然とした不安を感じていました。

ボランティアの協力で復旧

被災1か月後には全国でも稀な農業に特化したボランティアプロジェクトが始動し、農地のゴミ回収、りんごの木の応急処置による泥出しを行ってもらいました。また、生協しまねからも職員5名の方に手伝いに駆けつけていただいたり、組合員のみなさんから支援募金をお寄せいただいたことが、復旧の力になりました。

大きく咲き誇った花

りんごの木は地上から2m泥水に浸かり、幹や枝は家庭ごみがぶつかりボロボロの状態だったため、4月の開花を心配していましたが、まるで災害が無かったかのように大きな花が咲き誇りました。りんごの生命力の強さと、手を差し伸べてくださったたくさんの方々顔を思い出し、とても感動しました。励ましの声を届けていただき、本当にありがとうございました。

現在の状況

災害の爪痕はほぼ消えましたが、令和に入り環境問題が加速しています。春先には花芽が寒さで凍り着果不良が起き、残ったものはサビや変形が多発しました。昨年の夏には2か月にも及ぶ干ばつがありました。高温による着色不良や強い日焼け、内部褐色も年々増えています。都度、自然と向き合い家族や仲間と試行錯誤を繰り返しているところです。

2024年度方針

- 1、日々のくらしづくりの土台である「食」と「食文化」をより豊かにしていく取り組みを強めていきます。そのためには、普段のくらしを持ち寄ること、特に商品を真ん中にしたくらしのおしゃべりは、共感や発見、そして「自分らしく生きる」ことにもつながり、人間の持つ社会性を育む上でも大切なことだと考えます。
- 2、人と人との関係性が希薄化する中、地域社会において、「連携する力、つなぐ力、つながる力」を磨き、新たな関係性を生み出していきます。そして誰もが安心してくらし続けることができる持続可能な地域社会をめざし役割を果たしていきます。
- 3、「共に生き、共に創る」組織として、「つながる」ことを基本とした生協の運営や事業は益々重要です。職員も組合員も取引先も共につなぐって、ビジョン実現に向け活動していきます。
- 4、SDGsをさらに進め「誰一人とり残さない社会」実現に向け努力していきます。
- 5、県内農業への支援、農産物の普及をめざし、農産物の集荷・出荷機能を高めると共に、新たな物流の構築と障がい者雇用が可能となる事業の拡大を目標に「糶まい・しまね流通ラボ」を強化していきます。
- 6、今年の11月で、創立40周年を迎えます。地域や組合員、役職員と共に40周年を祝い、つなぐ力、つながる力、連携する力を一層発揮し、いつまでも安心して住み続けることができる地域を創っていきます。



第2号議案

2023年度決算及び剰余金処分案について

●2023年度の事業状況

供給高：93億255万円
(予算比100.4% 前年比100.3%)
一人当たり1回の平均利用高：4,612円 (前年差+30円)
組合員数：72,201人
2023年度加入組合員数：3,529人
出資金額：30億6,591万円
一人当たり平均出資金額：42,464円

●剰余金処分

I 当期末処分剰余金	246,988,032円
II 剰余金処分額	
1. 法定準備金	100,000,000円
2. 利用分量割戻金	9,300,000円
3. 出資配当金	6,100,000円
4. 任意積立金	
(1) 別途積立金	40,000,000円
(2) 税効果会計積立金	0円
(3) 修繕積立金	30,000,000円
(4) 災害対策等積立金	10,000,000円
(5) 資産再評価等積立金	10,000,000円
(6) 40周年記念事業積立金	10,000,000円
合計	215,400,000円
III 次期繰越剰余金	31,588,032円

第3号議案

2024年度予算について(主な数値)

供給高：93億9,780万円 (前年比 101.0%)
経常剰余金：1億3,130万円 (前年比 55.3%)
期末組合員数：73,051人 (純増 850人)
夕食宅配供給高：2億3,000万円 (前年比 103.0%)

第4号議案

役員報酬の限度額(総額)について

- (1) 理事(常勤理事3名、学識・経験理事2名、組合員理事18名)の報酬総額 4,600万円
- (2) 監事(非常勤監事3名)の報酬総額 220万円

議案採択結果

議案	賛成	反対	保留
第1号議案	198	0	1
第2号議案	197	1	1
第3号議案	198	0	1
第4号議案	195	2	2

40周年
記念企画

あなたのイラストが 『こーぷ・しまね』の表紙に!

11月に創立40周年を迎えることを記念して、「生協とわたし」をテーマにイラストを募集します。
いただいたイラストの中から数点を「こーぷ・しまね」11月号の表紙に掲載いたします。たくさんの応募をお待ちしております。

イラストのテーマ「生協とわたし」

投稿用紙

生協のある暮らし、生協での思い出、
お気に入りの生協商品を食べているところなど、
生協に関わるイラストをお願いします。

組合員コード

班名

名前

実名掲載可 ペンネーム (

) ※ご指定のない場合は、イニシャルで掲載いたします。

イラストの説明

応募方法 このページにイラストと説明を記入し、ページ全体を切り取り、
配送担当者へお渡しください。

応募期間 8月5日(月)～9月20日(金)

結果発表 11月号の表紙の掲載をもって発表とします。
※ポイントは11月中旬に付与予定です。

注意事項

- ・応募は未発表・オリジナルのものに限ります。
- ・採用された作品にサイズ変更や加工を施して使用する場合があります。
- ・作品の著作権は生協しまねに帰属することとします。
- ・イラストの返却は致しません。

11月号の表紙に
掲載された方には、

1,000
ポイント
をプレゼント!

応募して
くださった方全員に
ちょっとした
生協商品
をプレゼントします

おたがいの支えあいの気持ち 子どもたちの笑顔と元気につながる

～フードバンクしまね あったか元気便～

6年間のあゆみと新しい応援のカタチを紹介します

設立6年目を迎えたNPO法人フードバンクしまね「あったか元気便」は現在までに支援の輪がさらに広がり、今年度は松江市内の24の小中学校を対象に約553世帯へ29トンの食料品提供を目指しています。これまでに組合員のみなさんから「パッキングボランティア」への参加や「フードバンク支援募金」へのご協力をいただいておりますが、フードバンクしまねでは新しいカタチの支援として、様々な取り組みにも力を入れています。今回はその活動内容を紹介し、ご支援とご理解をさらに深めていただけたらと思います。



レスパイト（休息）応援

就学援助世帯のお母さん、お父さんに「子どもたちとゆっくり過ごせる時間」や「親御さんの休息时间」を届けたいという願いから、有償たすけあいシステム「おたがいさま まつえ・やすぎ」、地域つながりセンターの「子どもの笑顔応援基金」と協働して「おかあさんのためのレスパイト応援」に取り組んでいます。

あったか元気便利用世帯のみなさんなら1時間あたり100円で利用可能です。



写真はイメージです



様々な体験の機会の提供

連合島根による「田植えや稲刈り交流会」をはじめ、中学3年生の学習支援として「応援塾」を開催したり、島根県立大学による「キッズコンサート」やサクラ学院での「カヌー体験」など、楽しい体験が広がるお手伝いをしています。

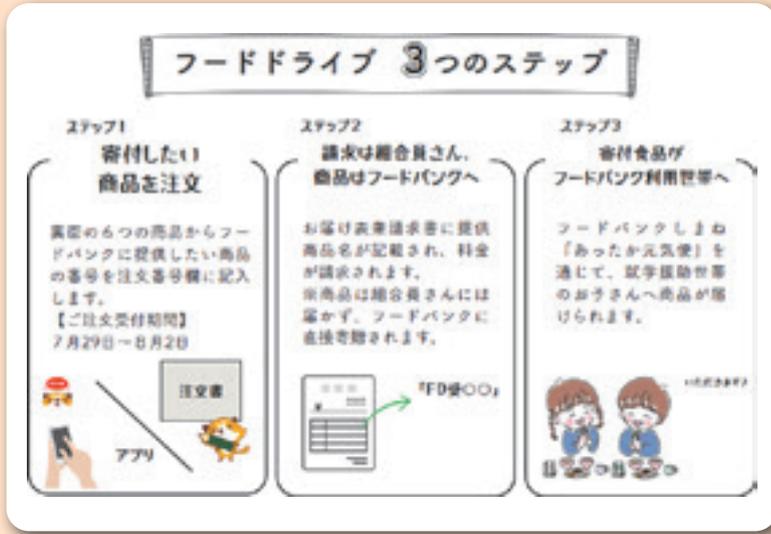


お昼ごはん＋学習応援

夏休みなどの長期休校期間の《お昼ごはん》と《宿題（学習）》への応援として、様々な地域団体の協力を得ながら取り組んでいます。

生協の注文を通じて フードドライブに参加

お米の寄付を 呼びかけました



一般的な「フードドライブ」とは自宅にある食料品を提供する活動ですが、生協しまねは組合員さんが指定の商品を購入し、フードバンクしまね「あったか元気便」へ寄贈するという新しい参加のカタチとして、松江周辺エリアの2つの支所の組合員を対象に参加を呼びかけました。



お米不足により、フードバンク支援品として7月、8月のお届けが危ぶまれましたが、皆さんからのご協力で、無事利用者にお渡しする目処が立ちました。

「あったか元気便」支援募金にご協力をいただき、 ありがとうございました

7月8日(月)～8月2日(金)の期間、皆さんから多くの募金が寄せられました。またあらためてご報告をさせていただきます。

「あったか元気便」を受け取った方から寄せられたコメント

♥ 育ち盛りの子どもを抱えいろいろな食品も値上がりして…。少し買っただけでも、びっくりする金額になって、本当に毎日毎日、苦しいです。いろいろなものを食卓に並べてあげたくても、一品、お味噌汁だけみたいなの…。子どもは何も言わずに食べてくれますが量的には足りていないかもって思う時が多々あります。



♥ 物価ばかり高くなり、食材を購入するために親は米を食べるのを控えていましたが、食品を頂けるようになってから1日2食は、親もお米を食べられるようになりました。ご飯が炊けることに感謝です。

♥ 長期休みの前に食品をいただき大変助かっています。そして、お米もこんなに…。食品支援はもちろんですが、一番はいろいろな方の優しさを感じることができると、それがとても嬉しいです。



フードバンクの活動を応援して下さる方を募集しています!

パッキングボランティアへの参加、募金、食品の寄付を受け付けています。詳しくは、フードバンクしまね「あったか元気便」事務局にお問い合わせください。

TEL 0852-67-7350 (月曜～金曜/10:00～16:00)



本部ステーションで商品を受けとる玉城さん（左）と当番の岩田さん（右）

1982年5月、生協しまねの前身である松江保健生協「購買事業部」が設立されました。2年後の11月19日、晴れて「生協しまね」として発起人26人で誕生。2024年11月19日で創立40周年を迎えます。生協が組合員のくらしにどのように根付いたのか、組合員の姿を描きます。



松江市 玉城 純子さん

生協加入歴35年。現在はご主人と二人暮らし。お気に入りの商品は『1.5倍大きいギョーザ』『あじの南蛮漬』など。

出会いと安心を与えてくれる生協

生協は出会いの場

生協に加入して35年。これまで生活スタイルに合わせて地域班、職場班、ステーションと様々な形態で生協を続けてきました。加入のきっかけは出産です。子どもがアトピー体質だと分かり、「添加物のないものを食べさせたら」と母がすすめてくれました。地域班で始めましたが、当時は個人別ではなく全員の商品と一緒に届いていたので、みんながどのような商品を頼んでいるのか丸わかりでした。その方が注文している商品から生活が見えるので、「我が家の食卓とは全く違うな」「これは我が家にも取り入れたいな」と思う発見もたくさんありました。班のみんなでお茶会を開いたこともあります。子育てをしていると家にもちがちなことになるので、とても良い気分転換になったことを覚えています。時には子どもも一緒に連れて行き、子どもどうしで遊ばせたり、子育ての先輩である班の方からアドバイスをもらうことも。生協の班は私にとって出会いの場でもありました。

“声”の届く生協

また、以前には企画要望を出し、企

画が実現したことがありました。「スジなしささみ」と「ストレートめんつゆ」でした。ささみはスジを取るのが苦手で、取ったらささみが半分に分れてしまうこともありました。めんつゆは、水で割ったものを計量カップなどに入れて置いておくと子どもがこぼしやすいので、水で割る工程がなく、使ったらすぐにフタで締められるストレートがあると思つての要望でした。企画された際に、カタログに顔写真と一緒に載ったこともあるんです。それから、生協は本当に組合員の声が届くんだという気持ちになりました。

楽しみと安心を与えてくれる

現在は職場班を経て、地域ステーションで利用しています。毎週1回ステーションに商品を取りに行くのが習慣になっていて、ともすれば忘れそうな曜日を思い出させてくれます。そして、当番の方とおいしかった商品を情報交換することが楽しみの一つです。

将来買い物に行けなくなったときは心配がある。ごはんを作れなくなったときには夕食宅配があると、生協は私に安心感を与えてくれる存在です。

総代募集

～あなたの想い・願いが生協に届く～

生協しまねは、ビジョン「共に生き 共に創る豊かなくらし」のもと、日々のくらしづくりの土台である「食」と「食文化」をより豊かにしていく取り組みを進めています。そして「一人ひとりの自分らしいくらしづくり」を大切に、誰もが安心して暮らせる地域・社会を組合員のみなさんと一緒に創っていきたいと思います。



生協でいろいろなことを決める場合、すべての組合員が集まって決めることができればよいのですが、約7万人の組合員が一つの場所に集まって意見交換することは現実的には困難です。そこで一定の選挙区ごとに選出された『総代』が通常総代会へ参加し、方針など大切な事項を審議・決定します。



『総代』は、特別な知識や経験は必要ありません。総代・組合員交流会や通常総代会の場、総代アンケートなどを通して、自分のくらしや自分の住む地域について生協に伝えます。そして、これからの生協がどうあったらよいか一緒に考えます。



2024年度「総代立候補」のお申込み

問合せセンター 0120-336-021

にお電話の上、支所名・班名・組合員コードをお知らせください。

受付時間：月～金曜日 8：30～20：00
土曜日 9：00～18：00



総代立候補届け出期間は

2024年7月22日(月)～8月23日(金)
午後5時30分までです。

▲こちらから
でもお申込み
できます

総代の1年間

2024年9月 総代選挙

任期は2024年10月1日～2025年9月30日までです。

2024年10月 「秋の総代・組合員交流会」に参加します

年度方針に基づいて、生協しまねの各支所の「半年間の振り返り」「今後の取り組み」について話し合います。

2025年5月 「春の総代・組合員交流会」に参加します

生協しまねの各支所の「1年間の振り返り」「新年度の活動方針」について話し合います。

2025年6月 「第41回通常総代会」に参加します

生協しまねの活動の「1年のまとめ」と「新年度の方針」について、理事会からの提案を受け、代議員である総代（組合員）が確認し、決めていく場です。

2025年9月 次の総代が選出されるまでが任期です



わたしの お気に入り

ピタッ!とラップ レギュラー

30cm×100m

参考価格 **348**円 (税込10%)
(382円)

【次回企画予定：雑貨通信 8月4回】



ピタッ!とラップ ミニ

22cm×100m

参考価格 **328**円 (税込10%)
(360円)

【次回企画予定：雑貨通信 8月4回】



組合員イチオシの商品を紹介するコーナーです



♪♪が♪
わたしの
お気に入り

ピタっ!と感とお手頃価格がお気に入り

松江市 FREDさん

某超有名メーカーのものが丈夫でぴったりくっつくのは重々承知ですが、なかなかのお値段がします。市販にもたくさんのお手頃価格のものがある中、これは取り出しもスムーズで、薄手なのにやぶれにくくて、そして我が家にあるお皿のほとんどにピタっ!とくっついてくれました。この大容量でこのお値段、とても気に入っています。

100mと大容量
なのでながく
使える!!

みんなあつまれ

あなたの声を
聞かせてください！



※次回企画予定は変更になる場合がございます

肉がやわらかい

松江市 すみれさん

高齢になり固いものが噛めなくなり
ました。『ヒレ肉を使ったやわらか豚
セット』本当に肉がやわらかくて味
も良く重宝しています。玉葱、人参、
ピーマンを加えて最高！！



【次回企画予定：シエル8月3回】

レンジパニック！

松江市 ぴよちゃん

冷凍食品生活をしている日々。昨年
は冷凍庫がこわれ、先日は突然レンジ

がこわれ、朝食よりパニック！近くに
住んでいる娘が昼休みに新しいレンジ
を買って来てくれました。夕食のチ
ンに間に合いました。ヤレヤレ…。

はじめての交流会

雲南市 K・Sさん

総代・組合員交流会にはじめて参加
しました。季節の花も飾られ、温かく
迎えてくださいました。23年度の振り
返りを聞き、生協の活動の様子も知ら
なかったことばかりで驚きでしたし、
決算書は丁寧にわかりやすく説明され
安心感をおぼえました。

のどかな幸せ時間

浜田市 E・Sさん

今日、今年初めての蛍を見ました。
夜、1時間のウォーキングをした後で、
疲労感も吹っ飛びました。こんなど
かな幸せな時間に感謝です。熊に気を
つけて歩きます。

日々の楽しみ

松江市 M・Mさん

日々の楽しみは、花を育てること。
昨年植えたヒマワリの種がたくさん採
れて、まわりの人に配ったりたくさん
種まきをしたので花が咲くのが楽しみ
です。花の種、土、苗はコープで注文
します。

喜んでくださるから

松江市 松江あばさん

生協には「夕食宅配」、お弁当の配
達があります。私は配達スタッフさん
がお休みのときの代配をたまにしてい
ます。たまの配達なのに利用者さんの
中には私の顔を覚えてくださって話し
かけてくださる方もいてうれしい気持
ちになります。私には娘が二人いて、
長女は双子を妊娠中「夕食宅配」を利
用させてもらっていましたし、今現在
次女も切迫早産の為仕事を休みして
「夕食宅配」を利用していただいで
います。「おいしいそう♡、買物に行か
なくていいし、血洗いとかがコンロまわ
りの掃除をしなくていいから助かる」と
喜んでいきます。利用者さんが喜んで
くださるから私も配達がんばります！！

微々たることでも

出雲市 E・Hさん

先日加入したばかりなので、初めて
のコープ・しまねでした！特に気に
なったポイントは、『もったいない
をいしく』のコーナーです。フード
ロスの問題は近年注目されていて、私
も食生活を振り返る中で、意外とまだ
食べられるのに捨ててしまっていたも
のだったり、野菜の切り方一つとって
も、可食部を無駄なく調理できてな
かったなと反省することがあります。
最近では、人参の表面は皮が剥かれた

あとだから、ピーラーで剥かずに調理
できるということを知って、そのまま
カットして無駄なく使うことができる
ようになったといった発見がありました。
た。廃棄が多いとその分、ゴミ処理に
も余計なエネルギーコストが発生しま
すし、包装についてもなるべく簡易包
装のものを選んだり、リサイクル包装
のものを選んだりしたほうが、これか
らの地球環境を維持していく上で必要
だなと感じます。これからも微々たる
ことではありますが、環境負荷が少な
くなるような生活を送っていきたくい
と思います。

会話のきっかけに

出雲市 S・Sさん

携帯で検索すると何でも調べられる
時代になりましたが、たまにクロスワ
ードを見つけるとついついやりたくな
ります。頭も使えて家族の会話のきっ
かけにもなって、とても良い機会です。

楽しみにしていたのに

邑智郡 H・Oさん

一週間ばかり家を開けている間に、
ジューンベリーの実をヒヨドリに取ら
れてしまいました。それも、全て。今
年もジャム作りを楽しみにしていたの
に…と、未だにショックから立ち直れ
ずにいます。自然を侮ってはいけな
い、再認識の初夏でした。

『エンディングノート』の

記事を読んで

大田市 Y・Mさん

今迄『終活』なんて必要ないと思っていました。自分が死んだ後のことまで考えなくてもいいと。年をとればまわりに迷惑をかけても仕方ないと思っていました。でも義父が亡くなり、晩年は認知症もあったので死後、わけのわからないことだらけ、聞いておけばよかったと。自分の確認の意味でも、エンディングノートをほしいと思いました。こーぶ・しまね6月号の2〜3ページは、とっておこうと思います。



浜田市 K・Kさん

今月の
テーマ

暑くて外出できないときの おうち時間の過ごし方

暑さを忘れる

楽しい時間

松江市 コリさん

築50年以上の古屋の我が家。一番涼しい北側のうす暗い和室に、ミシンを運んで縫い物を作ります。割り引き時に買っておいた布や余り布で簡単な服やバック、クッションなどを作ります。デザインを考えたり、つぎ合わせたり、刺繍をしたりすると、暑さも時間の経つのも忘れれます。一段落して気がつくとき、背中も、ももまわりも汗びっしょりですが、暑さを忘れる楽しい時間です。

片付けてスッキリ

出雲市 N・一さん

暑くて外出できないときはおうちの片付けや断捨離をします。まだ使えそうな物はフリマアプリに出品しています。おうちの中が片付くし気持ちもスッキリします。今年の夏も暑そうですが、みんなで元気に楽しく過ごせるようにこはん作りなどががんばりたいと思います。

チラシをゆつくりと

邑智郡 K・一さん

エアコンをつけて、生協のチラシを見てゆつくり楽しめます。職場の友も「生協のチラシ、1日見てもあきない」と言っていました。買う買わないは別として、ほんとにチラシを見るのは楽しいです。

冷房の効いた室内で

松江市 えつちゃん

あまりに暑い日中は、冷たい飲み物を近くに置いて冷房の効いた室内で読書ですね。クイズ投稿、生協のカタログもあります。時々テレビ体操もして健康にも配慮です。熱中症にならないようにできるだけ快適に室内で過ごしたいと思います。

いいわけ

松江市 音田りさん

必要なことは早朝にはりきってやってしまい、ひたすら昼寝のいいわけにしています。

掃除

松江市 Y・Nさん

暑い時は水回りの掃除(お風呂やシンク)に熱中してしまいます。水を使いすぎてヒヤリ!!なんてことも...

午前中に

安来市 ばばちゃん

暑くなると5時頃に起床します。窓を開けて、空の様子をみるのが好きです。朝食のスープを煮ながら食材ノートを開いて昼食・夕食のメニューを決めます。これが楽しい。午前中に夕食の準備までしてしまい、午後からは気力、体力がなくなるので、涼しい部屋でビデオ・YouTubeなどみています。ありがとうございます。🍷 伴侶に感謝です。



松江市 パンジーさん

災害支援基金の募金にご協力をお願いします

近年、豪雨や地震による河川の氾濫、家屋の損壊など自然災害が続発しています。生協しまねは2013年に「災害支援基金」制度を設け、年間を通じて組合員から寄せられる募金を積み立て、万一災害が起きた際でも迅速に被災地や被災者支援に役立てます。

これまでも、台風19号により被災されたりんごの産直産地、長野県「サン・くらぶとの会」の生産者の被災家屋やりんご畑の復旧にあたる職員の派遣費用に使わせていただきました。昨年度は2,051,181円の募金が集まりました。ありがとうございました。



災害支援基金へは、年間を通じてOCR注文用紙、eふれんず・アプリでいつでも募金できます。

募金方法①「注文書」の場合

記入例

募金額：(一口100円単位) 例えば…500円を募金する場合
注文書裏面下段の「4ケタ・6ケタ商品注文欄」に右詰で【1521】と記入し、注文数の欄に「5」と記入します。



※翌週の納品請求書に「非）災害支援基金一口100円」と表示・請求し、商品代金とあわせて口座振替します。

募金方法②「eふれんず」・「アプリ」の場合

「注文番号」からご注文ください。

産直こめたまご飼料米田植え交流会開催!

6月1日(土)、産直こめたまごを産む鶏のエサとなる飼料米の田植えを行いました。組合員家族19組、大人・子ども合わせて総勢60名以上の参加がありました。「生産者との顔が見える関係性」をつくることで、食の安全・安心を広げることを大切にしている『産地直結：産直』の活動。こめたまごを作るうえのご苦労、こだわりを知っていただく機会になりました。



晴天の中、大人も子どもも汗をかきながら田植えを行いました。頑張った後に食べた産直こめたまごの「ゆでたまご」は、一段とおいしく感じました。

〇×クイズを通して、産直こめたまごについて学習しました。



参加者の感想

たまごのこと、鶏の飼料のことなどとても勉強になりました。また、田植えの大変さも身に染みて実感し、生産者のみなさんへの感謝の念がより強まりました。
出雲市 A・Yさん

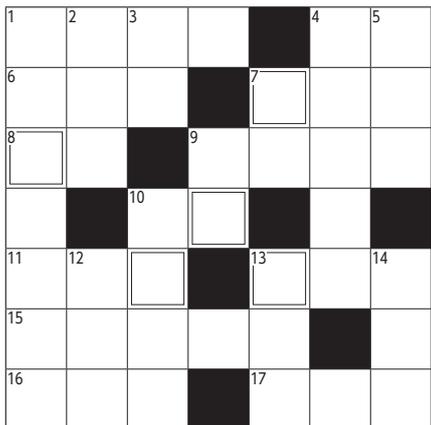
お子さんの感想

にわとりが食べるもののために、むがむ中で植えることができてよかったです。

- たてのカギ**
- ① 助けたカメに連れられて竜宮城へ行った漁師の昔話。
 - ② 入りこむと迷って出られなくなりそうなお道。
 - ③ 使い道。〇〇不明金は困ります。
 - ④ 色とりどりの夏の花。漢字で書くとう鳳仙花。
 - ⑤ ふすまや障子のレール部分。
 - ⑦ 1000キログラムは1〇〇〇。
 - ⑨ 液体が気体になる現象。
 - ⑩ 特定の区間を連絡するバスや大型車。国家的な要人が乗ることも多い。
 - ⑫ サケやマスの卵。
 - ⑬ 健康で〇〇〇的な生活。
 - ⑭ 試験を受けられなかったり特定の点数に届かなかった人が受ける追加の試験。
- よこのカギ**
- ① 梅の実から作られたお酒。
 - ④ 夜空に広がる天体。
 - ⑥ 左はレフト、右は?
 - ⑦ 土を焼いて作る器。
 - ⑧ 黒の反対。
 - ⑨ 宵の明星、明けの明星とは、この星のこと。

お楽しみクロスワード
正解者の中から
抽選で**20名**の方に
図書カード500円分を
プレゼント

□の中の文字を並べかえて言葉をつくってください。
当選者の発表は、図書カードの発送をもってかえさせていただきます。



- 7月号の答え▼ミドリカキ**
- ⑩ 小学校3年生から習う科目のひとつで、生物・化学・物理等の分野が含まれる。
- ⑪ ゲーム等の途中で休憩したり作戦を確認し合う時間。練習が厳しいこともある。
- ⑬ 放課後の課外活動。練習が厳しいこともある。
- ⑮ 1日を4つに分けた場合の時数。
- ⑯ 鉄腕アトムのお姉さんの名前。
- ⑰ 茶道でお菓子をいただくときなどに使う紙。
- 【ヒント】樹液を求めて飛んでくる夏虫



締め切り▼8月30日(金)
7月号の答え▼ミドリカキ

答えは15ページの投稿用紙に記入してください

☆6月号のお楽しみクロスワードは、応募者419名、全員正解でした。

6月26日㈪に行われた第14回定例理事会で話し合われた主な議案

報告・確認事項

- ①事業運営部、組織運営部、管理部より定例報告
 - ②2024年度総代選出の進め方について
 - ③2024年度総代選挙と選挙管理委員の選出について
 - ④2024年度のおたがいさま・地域つながりセンターへの運営補助費の助成金額について
 - ⑤2024年度ISO更新監査について
 - ⑥2024年度 秋の総代・組合員交流会の開催について
 - ⑦外部評価委員の委嘱について
 - ⑧2024年度資金計画表について
- 以上の議案について報告・確認が行われました。

議決事項

- ①「産直なかやま牛（加茂牛）」廃番について
 - ②就業規則の改正（定年退職時期の変更）
- 以上の議案について議決されました。

2024年5月度決算報告

- 供給実績 8億130万円 (計画比 102.5%、前年比 102.3%)
- 事業総剰余金 2億2,515万円 (計画比 100.7%、前年比 101.7%)
 - 人件費 計画比 98.7% 前年比 100.0%
 - 物件費 計画比 93.5% 前年比 97.6%
- 経常剰余金 1,872万円
- 一人当たり平均利用金額 4,285円
 - 利用者人数（一回当平均）38,315人(計画比 101.0%、前年比 101.0%)
- 仲間づくり 加入 436人 (計画比 109.0%、前年比 106.6%)

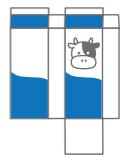
CO・OP共済 5月支払共済金実績

- 《たすけあい》《あいぶらす》《終身医療》《終身生命》《学生総合共済》計
- 給付件数…517件 ○給付金額…2,053万1,750円
 - (事故入院…23件、病气入院…224件、事故手術…7件 病气手術…91件、ケガ通院…172件)

ライフサイクル通信

5月の回収量

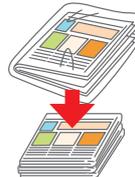
牛乳パック



牛乳パックは水で洗い、開いた状態でご提出ください。

1,679kg
(回収率 52.1%)

カタログ



カタログは袋から出して、ひもで縛らずにご提出ください。

119,828kg
(回収率 72.5%)

共同購入袋



集品袋に貼っているシールははがしておいてください。

1,566kg
(回収率 27.9%)

卵パック



卵のパックは向きをそろえてください。とってもコンパクトにまとまります。

835kg
(回収率 55.9%)

5月 商品定期検査報告

○農産品の残留農薬検査結果報告

商品名	検査項目数
玉ねぎ（べこ会&マルセイ）	200

すべての項目について基準値を超える残留農薬の検出はありませんでした。

○しまね開発商品の微生物検査結果報告

商品名
県内産大豆100%もめんとうふ
まい！しまねの牛乳
産直こめたまご10個



検査結果に問題はありませんでした。

生協しまねソーラー発電所

5月の発電状況

発電量 31,704kwh (昨年対比89.9%)

売電料 1,250,480円

商品センター（出雲市長浜町）の屋根及び、駐車場の太陽光発電の実績です。



こーぷ・しまね 投稿用紙

班名 _____ 氏名 _____

組合員コード _____

回答必要 実名掲載可

ペンネーム (_____)

※ご指定のない場合は、イニシャルで掲載いたします。



投稿募集

- 電気代・ガス代がなるべくかからない時短レシピを教えてください（混ぜるだけ、レンジだけなど）。
- こーぷ・しまね 8月号の感想をお寄せください。
- イラストを募集します！
季節のものを描かれる場合は10月のイメージでお願いします！

※班名、氏名、ペンネーム、クロスワードの答えもお忘れなくご記入ください。
※誌面のスペースの都合上、全ての投稿を掲載できかねますことをご了承ください。
※この投稿は、こーぷ・しまねやカタログ等の広報物への掲載、組合員活動、運営に活用させていただきます。ご了承の上、投稿ください。

●Eメール: kouhou@coop-shimane.jp
●投稿募集フォームから
<https://www.coop-shimane.jp/form/toukoubosyuu/>

●郵送:
〒690-0017 松江市西津田一丁目10-40
生協しまね「こーぷ・しまね」
みんなあつまれ係

●FAX: 0852-27-5742



携帯電話はこちらから

クロスワードの答え

投稿用紙を切り取って配送担当者にお渡しください。



みんなのくらぶ

～あたらしい
組合員活動のカたち～

おしゃべりくらぶの前身である地域ネットの時代から続いている「津和野おしゃべりくらぶ」。お子さんが赤ちゃんの頃に支援センターで出会い、友だちが友だちを誘うことで輪が広がり、今があるそうです。

公民館行事と合わせて活動

以前、生協のイベントの中で「津和野でも地域ネットを作ったら？」と声をかけられたことがきっかけで、支援センターで出会ったメンバーで地域ネットをスタート。それからメンバーの入れ替わりがありつつも、現在まで集まりが続いています。

いつも公民館で開催し、公民館行事と合わせているため活動内容も様々。ものづくりやフィットネスなどを行った後に届いた試食品を食べながら、子どもの学校の話、行事の話などで盛り上がっているそうです。お子さんの夏休みには、親子でハーバリウムを作ったとのこと。とっても素敵な活動ですね！



今回の試食品の『4種の野菜かりんとう』はごぼうの風味が感じられておいしかったです！



「津和野おしゃべりくらぶ」のみなさん

メンバーのみなさんの感想

「町内外の貴重な情報を得る場になっているので、無くてはならない場所です。しゃべること笑うことは心身ともに健康に良いので、できるだけ長く続けたいです。」

「みんなて話して、笑って、仕事や家族から離れてリフレッシュできることが自分には大切な時間なんだと、くらぶを終えて帰るときにいつも思います。」

くらぶのみなさんにとって、かけがえのない場・時間になっていると感じ取ることができました。

(編集：芥島〈つながり応援チーム〉)

みなさんもくらぶ活動、サークル活動をはじめませんか？

活動名	おしゃべりくらぶ	子育てくらぶ	サークル
対象	組合員3名以上で結成できます。	妊娠中から末子が就学前までのお子さんを持つ組合員3名以上で結成できます。	組合員を含む3名以上で結成できます。組合員でない方も登録できます。
活動内容	月に1回(何回でも)集まって、何でもおしゃべりします。生協から毎月“お楽しみ商品(試食品)”をお届けします。	月に1回(何回でも)集まって、子育ての情報交換などおしゃべりします。生協から毎月“お楽しみ商品(試食品)”をお届けします。	自分たちの興味・関心ごとについて、自分たちのペースで集まります。
活動補助費	○年間6,000円 年度途中の結成の場合は残りの月数×500円	○年間6,000円 年度途中の結成の場合は残りの月数×500円 ○子育て応援費 上限5,000円 託児費・会場費のみに使えます。	○生協の施設を無料で使用できます。 ※補助費の対象となるには、半数以上が組合員で構成されていることが必要です。 ※年間を通じて申し込みいただけますが、補助費の対象は9月までの登録サークルとなります。

組合員活動について詳しい内容を知りたい方は [生協しまね 組合員活動](#)

検索 🔍

お申し込みは… 問合せセンター 0120-336-021 まで

(月～金曜日/8:30～20:00 土曜日/9:00～18:00)

①希望する活動 ②組合員名 ③組合員コード をお伝えください。こちらからもお申込みいただけます。⇒

